

跡見学園女子大学に関する相互評価結果

I 相互評価結果

平成 11 年度相互評価委員会において、貴大学は、大学基準に適合し、かつ、改善の努力が認められるものとして相互評価の認定を行うことが適当である旨の評価結果が下され、また、評議員会および理事会において、同評価結果が満場一致をもって承認されたので、ここに貴大学の相互評価認定を行う。

II 勸言・勧告

[1] 概 評

「有能なる社会人、家庭人たる女性の育成」という女子教育・全人教育の伝統を守りながら、しかも社会の変化に目を向けて、カリキュラムの再編や学習環境の改善などを図るとともに、新たに社会的貢献のできる女性の育成を教育の目標に加えつつ、教育研究の改善・改革がなされようとしていることは評価できる。また、文芸、芸術による人権・教養教育を目的とする大学の教育理念が学科構成や設置科目に特徴的に表現されており、伝統ある単科大学のよさと他大学にない個性を生み出している。

今後、実学重視の社会科学系学部の設置計画など大学のさらなる発展が期待される中で、伝統を踏まえた新しい理念の創出と学生への周知徹底を図るとともに、複数学部をかかえる準備としての諸制度の明文化及びその具体的な実質化に努力されることが望まれる。

なお、今回の貴大学における自己点検・評価の結果並びに本協会の相互評価の結果に対し、全学的・組織的に対応し、教育研究のさらなる改善に結びつけることが望まれる。

[2] 大学に対する提言

一、勸 言

① 長所の発揚に関わるもの

- 1 建学の精神である「知育のみに偏らない、情操教育」の実現のため、文学部のカリキュラムの中に書道、絵画、デザイン、彫刻、工芸実習といった芸術系の実習科目を開講していることは評価できる。

- 2 すべての学科において教職免許が取得できるほか、可書課程、可書教諭課程、学芸員課程の資格取得課程が置かれており、職業人の養成という社会的使命を果たしている点は評価できる。
 - 3 大学の社会的貢献として、長年にわたる公開講座のほか、無料で提供される花塚記念資料館主催の講演会を実施していることは評価できる。
 - 4 新図書館の開館をはじめ、学生の座席数の拡大や開館時間の延長など、図書館の施設・設備の充実と図書館利用者への配慮を行っていることは評価できる。
 - 5 育英奨学金、進路ガイダンス・カウンセリング、就職などの総合的な学生援助体制の整備と教育的配慮への努力は評価できる。
- ② 問題点の指摘に関わるもの
- 1 在籍学生数に比し、専任教員数が少ないので、その改善が望まれる。

二、勧告

- 1 専任教員の年齢構成に偏りが見受けられるので、若手教員の採用を含めてその改善に努力されたい。
- 2 講義室・演習室等が狭隘であるので、その改善に努力されたい。

三、参考意見（付記）

- 1 大学及び文学部設置の理念・目的を学生に分かりやすく明文化し、周知されることが望まれるとの意見があった。
- 2 首都圏という立地からして、留学生入試に対する需要は大きいものと考えられ、その実施が望まれるとの意見があった。
- 3 生涯学習への対応は積極的であるが、今後さらに社会人の特性に応じたカリキュラム編成に特別な配慮が望まれるとの意見があった。
- 4 教員人事や教授会規程の整備及び明文化が望まれるとの意見があった。
- 5 教育研究経費がここ数年減少傾向にあるが、これに歯止めをかける対策が望まれるとの意見があった。